様式-CB019-07（版数 3～1）

研究利用管理番号
25010

研究内容の説明文

臍帯血提供者説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	マウスを用いたさい帯血移植による造血細胞移植後の新規 GVHD 予防方法の開発 （ヒト化マウスモデルを用いた同種造血細胞移植の GVHD 予防方法の検討）
研究期間	2025 年　8 月　19 日　～　2027 年　3 月　31 日
研究機関名	名古屋大学
研究責任者職氏名	特任教授　赤塚美樹

研究の説明

１　臍帯血・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供される場合はその方法を含む。）

難治性造血器疾患の治療法として同種造血細胞移植がありますが、移植後に発生する移植片対宿主病（GVHD）は予後不良の合併症です。本研究ではマウスを使った同種移植実験だけでは十分確認できない GVHD 予防薬の評価を、マウスの造血・免疫細胞をヒト細胞で置換した後に異なったヒトの造血・免疫細胞を移植するような実験系で評価し、新たな GVHD 予防法を開発することが目的です。

ご提供いただいた臍帯血から造血幹細胞を取り分け、免疫不全状態にある幼若なマウスに移植することによりヒト化マウスを作製します。次いでヒトの同種造血細胞移植時と同じような前処置後に HLA が半分程度異なる別の臍帯血から取り分けた造血幹細胞を移植します。その際に新規開発している GVHD 予防薬を投与し、GVHD の予防効果を評価します。

２　さい帯血バンクから提供される試料・情報の項目

・年数経過により公開を取り消した臍帯血

・臍帯血の HLA 型、性別、有核細胞数、CD34＋細胞数、コロニー形成細胞数

３　利用する者の範囲

名古屋大学医学部の本研究の研究責任者（分子細胞免疫学・特任教授・赤塚美樹）及び研究分担者および、共同研究者である一般社団法人中部さい帯血バンク研究部職員が利用します。

４　臍帯血提供者又はその代理人の求めに応じて、臍帯血提供者が識別される臍帯血・

情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること
臍帯血提供者又はその代理人、臍帯血移植を受けた患者又はその代理人は、個人の特定ができる状態であれば、臍帯血・患者の情報の利用および検体提供を拒否することができます。ただし、学会や論文などで研究成果を発表後の場合は利用の停止はできません。

５　４の臍帯血提供者又はその代理人の求めを受け付ける方法
一般社団法人中部さい帯血バンクが受け付けの窓口となります。
〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町 539-3 愛知県赤十字血液センター4 階
電話番号 TEL:0561-85-5222

本研究に関する問い合わせ先

所属	一般社団法人　中部さい帯血バンク
担当者	森島 聡子
住所	愛知県瀬戸市南山口町 539-3　愛知県赤十字血液センター４F
電話	0561-85-5222
Mail	smorishi@chubu-cbb.org

研究代表機関：
名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター特任研究部門
（大学院医学系研究科 分子細胞免疫学分野）
研究代表者：特任教授　赤塚美樹